

世界せん妄デー

2017年3月15日



医療者向けせん妄の手引き



せん妄とはなにか？

せん妄（以前は急性錯乱状態）は急激な脳機能低下である。せん妄は注意力の障害、睡眠障害、興奮、幻覚や思考の変化の症状を呈し、数時間から数日症状が続く。



なにがせん妄を引き起こすか？

せん妄の多くは急性疾患（脳またはそれ以外）、外傷（大腿骨骨折）、手術、精神的なストレス（状況の変化）、薬剤の副作用または離脱症状によって引き起こされる。



どのような患者がせん妄になるか？

どの患者もせん妄になり得る。特に、高齢者と認知症患者はせん妄になりやすい。



せん妄は認知症と一緒か？

せん妄は認知症と異なる。せん妄は急激に発症し、通常数日で症状が消失する（20%はそれ以上遷延する）。そして、せん妄患者は認知症と比較し意識低下、精神症状がより多く伴う。これに対し認知症は徐々に症状が発症し（月単位）、ほとんどは症状が改善することはない。



せん妄症状が消失したとしても、なにが問題か？

たとえ短い時間のせん妄発症であっても、病気の回復遅延、退院後の老人ホームへの入所の必要性、認知症発症や死亡のリスクが高くなる。また、せん妄を発症した患者は自分が危害を加えられるのではないかと、または刑務所にいるような思い込みをしたりと発症した本人に強いストレスを与える。家族やケアを行っている人も同様に、せん妄の発症によって心理的な苦痛を受ける。



せん妄はどのぐらいの割合で起こるのか？

約4人に1人の高齢者がせん妄となる。



どのようにせん妄を治療するか？

すぐに原因となっている疾患の治療を行うか、せん妄を引き起こすような薬剤の使用を調整することが最善の治療法となる。また、脳機能の回復のための一般的に行われている治療や精神症状や心理的苦痛に対する治療を並行して行うことが必要となる場合がある。



どの程度せん妄は特定され、管理されているか？

せん妄は依然としてほとんど発見、診断がされておらず、多くの症例においては適切な治療がされているとは言えない。残念ながら、全ての医療者がせん妄に対し十分な知識を持っているとは言えない。



せん妄に対してどのようなことができるか？

まず発見し、“せん妄である”と認識をする。そして、迅速な生理学的な側面の是正、精神症状緩和、心理的苦痛の緩和、感覚麻痺の是正、離床、環境調整、自然な睡眠の促進、せん妄診断について患者及び家族と話し合いを行う。また、せん妄は生理学的な側面の是正（脱水状態を避けるなど）、急性疾患の迅速な治療、見当識を持たせる、感覚麻痺の是正、自然な睡眠の促進することによって部分的には予防可能である。